

〔参考一〕 明治四十一年五月二十九日臨時仮名

遣調査委員会委員長及委員文部大臣

官邸ニ参集ノ際ニ於ケル牧野文部大

臣ノ演説筆記

仮名遣ノ問題ハ其性質學問上ニ涉リ又國民全体ノ日用文ニモ直接關係ヲ有シテ居ルカラ之ヲ解決スルノハ随分困難ナコトデアリマス、ソレユエ当局者ハ更ニ広ク有識ノ方々ノ審査ヲ請ヒタイト切望致シマシタ結果御多忙ナル諸君ニ其ノ委員ヲ御依頼致シマシタ所幸ヒ御承諾下サレ貴重ノ時間ヲ割イテ今日御出席下サレ又今後モ必要ニ応ジ御臨席下サルコトハ深ク感謝致ス所デアリマス

就キマシテハ今日ハ諸君ノ御審査ヲ願フベキ原案並ニ参考トナルベキ關係書類ヲ御配付致シマスルニ付何卒御持歸リノ上篤ト御熟読アランコトヲ願ツテ置キマス、コレヨリ本官ハ何故ニ仮名遣問題ガ起リ之ガ解決ニ迫ツタカトイフ事情ニ付テ要領ヲ摘ンデ申述ベテ置キタイト思ヒマス

抑モ仮名遣問題ノ起リマシタノハ維新ノ結果トシテ百般ノ制度文物革新致シマシテ教育法モ大ニ変更セラレタ際ニ胚胎シタモノト存ジマス、從來ハ就學ノ始カラ直チニ漢字ヲ教フルノガ慣例デ字音モ字訓モ仮名ヲ借ラズ、直チニ其漢字ヲ見テ之ガ発音ノ暗誦ヲサセマシタ、ソレデスカラ書クトキハ漢字

ガ主トナリ仮名ハ客トナツテ字音モ字訓モ漢字ニ隠レテ居ツタタメニ仮名遣法ガ余リ問題ニナラナカツタノデアリマス、然ルニ現行教育法デハ初年級ノモノハスベテ仮名ニ依ツテ之ヲ書キ現ハスコトニナツテ居リマスカラ仮名遣ガ小学教育ノ初年ニ於テ非常ニ大切ナモノニナツタノデアリマス、トコロガ從來教科書ニ用ヒテ来タ仮名遣ハ歴史的ノモノデ通常ノ人ニハ頗ル六ヶ敷イ物デアアルノデ、之ヲ精確ニ學習サセルコトハ中々容易デナイ、殊ニ一方ニハ困難ナ漢字ヲ学年ノ進ムト共ニ學バナケレバナランノデ、兒童ノ負担ハ実ニ重イノデアリマスル、又学年ガ進ムニ從テ学科ガ段々増加スル許デアリマスカラ國語國文ヲ學習スルノ困難ト学科ニ對スル負担トハ益々兒童ニ重荷ヲ課スルコトニナリマス、我邦兒童ガ國語國文ヲ習得スルノ困難ハ慥カニ他國ノ兒童ガ彼ノ國語國文ヲ學習スルヨリ数倍デアアルコトハ争フベカラザル事實デ他ノ國民ニ對シ誠ニ不幸ノ位地ニ居ルモノト言ツテ宜シイノデアリマス、教育當事者ハ乃チ教育事業ノ改良手段ノ一トシテ遂ニ明治三十三年小学校令施行規則制定ノ場合ニ仮名遣上最モ困難トスル字音ニ関シテ改正ヲ加ヘ學習上簡便ニ致シマシタ、是ハ諸君ガ既ニ御承知ノ現行ノ字音仮名遣デアリマス、教育家及兒童ハ之ガ為メニ便益ヲ感ジタコトガ少小デナカツタト確信シテ居リマス、爾來教育者間ノ希望トシテ國語ノ仮名遣モ字音仮名遣ト同一ノ主義デ改正ヲ加ヘラレタイ、字音仮名遣

ト国語仮名遣ト其用法ニ於テ嚴格ナ區別ヲ画スルコトハ小学
児童ニ於テハ頗ル困難デアルカラ尙進ンデ国語仮名遣ニ関シ
テモ相当ノ改正ヲ加ヘラレタイト云フ声ガ高クナツテ参リマ
シタ、殊ニ国定教科書修正調査ノ為メ關係ノ学者教育家ヲ以
テ組織シタ教科書調査委員会ニ於テモ仮名遣ノ統一改正ヲ急
務ト認メ案ヲ具シテ報告シテ参リマシタ、明治三十八年ノ春
高等教育會議及国語調査委員会ニ諮問シテ審議ヲ求メマシタ
ノハ即チ右ノ案デアリマシタ、然ルニ当時高等教育會議ニ於
テハ本件ハ重要ノ問題デアルカラ猶十分講究ノ必要ガアル依
テ他日ヲ俟テ更ニ諮問アラシムコトヲ望ムト云フ議決ヲ致シマ
シタ、其後国語調査委員会ニ於テハ該案ニ付慎重ニ調査ヲ致
シマシテ同三十八年十一月詳細ナル案ヲ具シテ答申ヲ差出シ
マシタ、ソコデ文部省ハ三十九年十二月開会ノ高等教育會議
ヲシテ更ニ右ノ案ヲ審議サセマシタトコロ同会ハ直チニ之ヲ
可決シタノデアリマス、是等諸會議ノ意見ハ固ヨリ本大臣ノ
敬重スル所デアリマスガ之ガ実行ノ責ニ任ズルニ先チ尙一層
ノ研究ヲ要スルトコロガアルトイフコトヲ認メマシタ、而シ
テ又昨四十年三月貴族院カラ仮名遣改正ニ関スル建議ガ出マ
シタカラ其ノ趣旨ヲモ参案シテ考慮致シマシタ結果、本省主
務課ニ更ニ起案ヲ命ジマシタ其案ハ即チ今回諸君ニ廻付シタ
モノデゴザイマス、本案ハ仮名遣上口語ト文語トノ區別ヲ廢
シ、或ハ社会ノ慣用ニアマリ遠ザカラナイ様ニ注意ヲ加ヘマ

シタ、且又先ニ字音仮名遣ヲ改正シタ結果国語ノ仮名遣モ自
然之ニ倣フ様ニナリマシテ、現ニ小中学ノ生徒ハ字音ト国語
トノ區別ヲ嚴重ニ弁別致シマセヌ——相当教育アル人々モ之
ヲ區別スルニ困難ヲ感ズル場合ガ少クアリマセヌ——ソレデ
其學習シタ字音ノ新仮名遣法ハ比較的簡易デアリマスカラ改
正ハ単ニ字音ニ限ツタノニ拘ラズ之ヲ推シテ国語仮名遣ニモ
応用スル様ニナツタモノモ頗ル多イノデアリマス、例ヘバ国
語ノ葬^{ハウムル}「ホームル」ト書クノハ其一例デアリマス、依テ本省
ハ此等ノ事情ニ顧ミマシテ今ニ於テ之ヲ統一シ整理スルニア
ラザレバ本邦ノ国文ハ一層ノ混乱ヲ来タスノハ明白ナ道理デ
アリマスカラ、此際此案ノ如ク字音仮名遣法ト国語仮名遣法
トヲ出来得ルダケ統一シ、(改正ノ区域ハ可成之ヲ減少シ)
之ニ依テ国語教育ノ困難ヲ除キ其發達ノ便ヲ計ランコトヲ主
眼ト致シマシタ、夫レカラ今一ツ説明シテ置ク必要ガアルト
思フ点ハ、此案ノ緒言ニ此仮名遣ハ国定教科書ヲ編纂スル場
合ニ之ヲ用フルコトヲ許容ストアルコトニツイテデアリマ
ス、乃チ許容ハ讀ンデソノ字ノ如クデアリマシテ、將來スベ
テ此新仮名遣法ニ一定シテシマツテ在来ノモノハ之ヲ全廢ス
ルト云フ意味デハアリマセヌ、教科書ニ之ヲ用ヒテモ差支ガ
ナイト云フノデアリマシテ、在来ノモノハ勿論歴史的ノモノ
トシテ之ヲ在置スルノデアリマス、此許容ト云フコトニハ已
ニ先例ガアリマシテ先年文法上許容スベキ事項ヲ定メタコト

ガアリマス、夫レハ古来ノ用例ニ照シテ正確ニ論ズル時ハ文法上ノ誤謬ト見ルベキモノデモ慣習久シキニ及ンデ居ルモノハ之ヲ咎メナイト云フノデアリマス、此文法上ノ許容事項ハ目下行ハレツツアルノデアリマシテ今度ノ許容ト云フノモ実ハ之ト同様ノ意味デアリマス、而シテ原案ノ新仮名遣ハ甚ダ簡單デアリマスルシ、世間デ通常人ノ用フル所ト甚ダ近イモノト信ジマスルカラ之ヲ学ブニハ別段骨ノ折レルコトハナイト存ジマス

又仮名遣ト発音トヲ成ルベク一致サセル大体ノ精神ニ至ツテハ先キノ国語調査委員会ノ案ト其趣旨相戻ルコトハアリマセヌ抑モ仮名遣ノ問題ハ前ニ述ベマシタ通り普通教育上ノ利害カラ起ツタモノデアリマスルシ小学校デハ仮名ヲ多ク使用シテ国語ヲ教授スルノデアリマスカラ国定教科書修正ノ事業ニハ直接ノ関係ガアル訳デアリマス、ソレ故明治四十二年度ノ始カラ使用スベキ修正教科書ノ編纂ニツイテハ本問題ヲ予メ決定シテ置クコトガ先決ノ順序デアリマス、仮名遣問題ノ起原沿革等ハ以上ノ如クデアリマスカラ尚ホ承ハリマスレバ仮名ガ時代ニヨリ人ニヨリ随分勝手ニ用ヒラレタ様子ハ古書ニ例証ガ沢山アルト申シマスガ此辺ノコトハ私ハ能ク心得テ居リマセヌ、唯今日ハ六百万ノ児童ニ義務教育ガ負ハセテアリマシテ其国民教育ノ成績如何ニ依テ各国トノ競争上帝国ノ位置ヲ維持スルト云フ歴史上未曾有ノ時運デアリマス、ソレユエ

苟モ国家的観念ノ養成ニ妨ゲザル限りハ聊カデモ其負担ヲ軽減シ教育ノ実質ヲ進メ現代ハ勿論永久ニ国民ヲシテ其便益ニ浴セシメ国家ノ進運ニ貢献サセタイト云フ精神カラ此問題ヲ解決シヨウトシタノデアリマスカラ願ハクハ諸君之ヲ諒察セラレテ慎重審議以テ速ニ何分ノ答申アランコトヲ希望致シマス